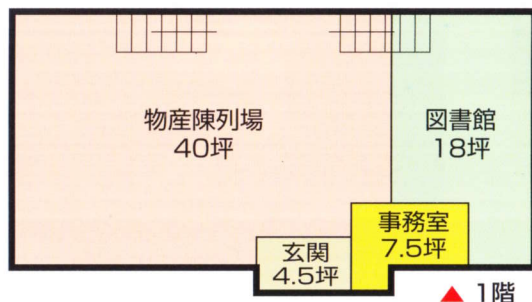
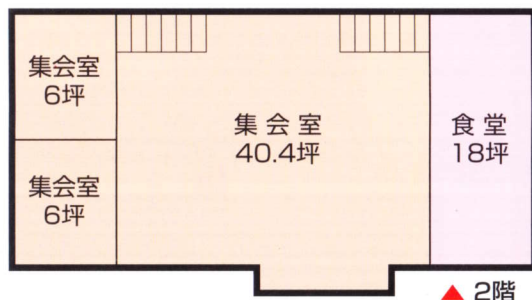




創建当時の平面見取図及び概要



木造瓦葺2階建て
建築面積 / 246.9㎡
延面積 / 493.6㎡
高さ / 16.89m
工期 / 大正3年5月～大正4年10月
総工費 / 12,861円 (建設費のみ)
昭和56年1月27日鶴岡市指定有形文化財 (建造物)



アクセス

- ▼バス JR鶴岡駅より約10分、「市役所前下車」徒歩3分
 - ▼車 山形道鶴岡I.C.より約10分、庄内空港から約25分
- ※お車で越しの方は、鶴岡公園周辺の公設駐車場（無料）をご利用ください。

来館のご案内

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

入館料

無料

休館日

毎週水曜、12月29日～1月3日
(水曜が祝祭日の場合は翌日以降の平日)

お問い合わせ先

【大宝館事務局】

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町4-7
電話番号・FAX 0235-24-3266

指定管理者

【公益財団法人 致道博物館】

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話番号 0235-22-1199
FAX 0235-22-3531

たいほうかん 大寶館

～郷土ゆかりの人物資料館～



鶴岡市教育委員会

大宝館は、大正4年（1915）に大正天皇の即位を記念して創建され、11月10日の天皇即位の日に開館しました。『大宝館』の名は、中国の易経にある「天地の大徳を生という。聖人の大宝を位という。」に由来します。

開館当時、一階は物産陳列場と図書館、二階は大小の集会室と食堂がありました。昭和26年（1951）から昭和60年（1985）まで図書館本館として利用され、その後、全面的な保存修理を行い、昭和63年（1988）からは、鶴岡ゆかりの人物資料展示施設として一般公開しています。

シンプルな左右対称の姿が美しく、白壁に赤い



黒崎研堂書・斉藤善作彫の銘板

ドーム風の屋根が映える大宝館は、大正初期の当地の洋風建築の意匠を今に伝える貴重な建物として、昭和56年（1981）に鶴岡市の有形文化財に指定されました。緑濃い鶴ヶ岡城跡に建つ大宝館の優雅なたたずまいは、四季折々に人々の目を楽しませてくれます。

高山樗牛生誕の間

たかやま ちよぎゅう

明治の文豪高山樗牛の生家を移築し、作品や遺品とともに展示しています。



春



2F展示室



秋

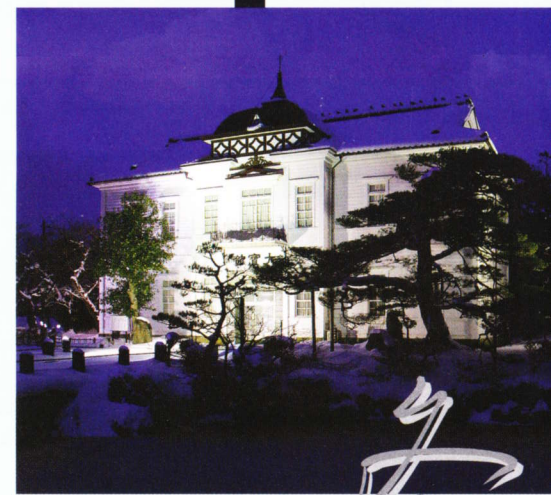


夏

人物資料館として

明治以降、各分野で活躍した鶴岡ゆかりの故人の資料を展示しています。展示人物は定期的に展示替えを行い、順次紹介しています。

1F展示室



冬